

平成20年度財団法人埼玉県体育協会  
第4回理事会議事録

日 時：平成21年3月13日（金） 午後2時00分より  
会 場：財団法人埼玉県自治会館4階ホール  
出席者：29名 委任者：4名 陪 席：1名 事務局：5名

五十里光秋監事が12月25日にご逝去された。哀悼の意を表し黙祷を捧げる。

あいさつ

坂本祐之輔会長

去る2月24日に土屋義彦元会長（前埼玉県知事）のしのぶ会があった。協力頂いた関係者並びに団体の方々、ありがとうございました。

新井彰スポーツ振興課長（あいさつ後退席）

本県の週に1回のスポーツ実施率が昨年よりも落ちている。今後ともスポーツ活動を盛り上げて行きたい。ご協力をお願いいたします。

定足数の確認

- 理事35名のうち出席29名・委任4名・合計33名、寄附行為第26条第2項により理事会成立を報告。議長は寄附行為26条により坂本祐之輔会長。
- 寄附行為第27条により議事録作成にかかる署名人2名を指名させていただく。

報告事項

第64回国民体育大会冬季大会について

- スケート・アイスホッケー競技会が、平成21年1月28（水）から2月1日（日）まで青森県八戸市を中心に開催され、スキー競技会が2月17日（火）から20日（金）まで、新潟県湯沢町を中心に開催された。

総合成績では天皇杯第8位、皇后杯第10位につけている。競技別では、スケート競技が、第51回大会の第7位以降13年ぶりに第8位に入賞。アイスホッケー競技は、昨年一昨年と連覇を果たしたが今大会では3位を獲得。スキー競技では、4年ぶりに皇后杯8位入賞を果たした。この流れを本大会につなげたい。

- ただ今の説明について何かご質問とうございますか。
- なし。

専門委員会報告

（総務委員会）

- 第3回総務委員会を本日午前中に開催した。本日の理事会に凶る内容を協議した。公益法人制度改革では、イメージが沸くようにひな形に沿った定款の案文を示した。中でも評議員と監査の件が問題になってくると思われる。

定款の変更は容易ではないので、定款に定めず細則に設けた方がいいのかなど今後

検討していく。

(強化対策委員会)

- 平成 21 年 1 月 16 日 (金) に開催した。第 64 回国民体育大会に向けた埼玉県選手強化基本方針や選手団編成方針、選手強化基本計画を検討した。

強化基本計画では、天皇杯第 3 位以内を目標とし、9 年連続 3 位以内を目指す。中でも、彩の国まごころ国体以降の戦力状況からジュニア対策に重点を置き、長期的な視点での取り組みをより明確にし、(仮称) 彩の国ジュニアアスリートアカデミーとし取り組む。

各競技団体戦力予想では、目標達成が可能範囲にあるので、より一層競技団体と一致団結し強化に励む。

(普及委員会)

- 平成 21 年 1 月 23 日 (金) に本年度第 1 回の普及委員会を開催した。併せて、役員改選を行い、私篠崎が委員長を拝命いたしましたので、引き続きご指導をお願い致します。なお、副委員長には宮坂誠理事・坂口信豊理事にお引き受け頂いております。

会議の主な内容は 4 点あり、一点目は、今までの啓発活動の報告と今後の取り組みについてで、具体的な取り組みは、年度切り替わりに併せて検討致します。

二点目は、総合型地域スポーツクラブ関係で、全国的な取り組みとして、総合型地域スポーツクラブ全国協議会が 2 月に立ち上がる。

埼玉県には、その下部組織となる団体があり、それは、本会が育成したクラブが中心となって活動している「ふあいぶるクラブ運営協議会」で、今後の活動について支援を検討していく。

三点目は、例年 6 月に行われる「郡市町村体育協会連絡会議」についてで、特に郡市選出の理事の方々には日時・会場等の選定等でご尽力を賜ります。

最期に、新たな普及広報活動として、国体選手等のスポーツ活動の写真を武蔵野銀行や県立武道館の主道場のロビー展示を始めた。

(広報委員会)

- 平成 21 年 1 月 23 日 (金) に本年度第 1 回の広報委員会を開催した。役員と編集計画について話し合わせ、私岡野が編集委員長に推挙されました。よろしくお願い致します。

会議では、スポーツ埼玉誌について話し合い、従来から記録を中心に編集してきましたが、昨今、記録等についてはホームページでの掲載が多くなって来ているとのご意見があった。

しかしながら、長い歴史を積み重ねるものは活字で残すことも必要ではないかとの意見もあり、スポーツ埼玉誌としては、埼玉県体育史として残すべき物を掲載していきたい。

(スポーツ科学委員会)

- 国体候補選手を対象に、トータルサポートと題してメディカルチェック・体力測定・スポーツ心理講習・スポーツ栄養指導を、1 月にアーチェリー競技、3 月にバスケットボール競技を実施した。

2 月には、埼玉県スポーツ指導者研修会において、トップアスリートへの道と題し、

財団法人埼玉県サッカー協会副会長兼専務理事の横山謙三氏にご講演をいただいた。  
パネルディスカッションでは、スポーツにおける事故（リスクマネジメント）を実施した。

本日の夜、スケート競技フィギュア部門の選手・監督等を対象としたコーチングセミナーを実施する。

突発的な雷雨に対して注意を促してきたが、具体的なものはなかったので、科学委員会で落雷事故対応マニュアルを発生時期前の配布に向けて取り組んでいる。

(スポーツ少年団)

- はじめに、1月24日(土)25日(日)に指導者現地研修会を開催した。指導者280名の参加があり、今年度は団員が約1600名減少したこともあり、団員の増加策について事例発表を行った。また、平成21年度の種目別大会等について話し合った。

2月28日(土)にバドミントンの種目別大会が開催され、本年度の全ての種目別大会が終了した。

3月26日(木)から29日(日)において、第6回全国スポーツ少年団バレーボール交流大会が、熊谷市・深谷市・行田市で開催される。

(埼玉県立武道館)

- 2点ご報告致します。一点目は、各利用団体等が協力・連携を図り更なる武道館の活性化を図るため、3月3日(火)に武道館に連絡協議会を設置しました。

構成メンバーは、埼玉県を統括する武道団体とレクリエーション関係で武道館を使用できる統括団体。それに、指定管理者として体育協会と武道館職員です。

今回の会議内容については、前回の理事会で報告した使用料の減免についてで、一年間を顧みるとその約98%が減免されていた。収入が半減されてしまっていた。

各武道団体、レクリエーション団体と個別に話し合いをし、条例の解釈が非常に曖昧だったので、県の団体が行う事業を減免する旨確認しあつた。

二つ目は、自動販売機の設置についてで、武道館にはレストランや喫茶室がないので、利用者や団体から不便で有るとのご意見を頂いている。

また、自動販売機は7台設置されているが、毎週土日に大会等があると対応出来ていないのが現状です。

そこで、新たに4台の自動販売機増設を申請した。そのうち2台については、財団法人日本体育協会国民スポーツキャンペーンの推進費付自動販売機を設置します。

一本に付10円が申請者である埼玉県体育協会へ、10円がロケーション施設(武道館)に交付金として支払われる。スポーツ振興のための財源確保にも役立てていく。

- 全ての委員会報告が済んだので何かご質問等有りますか。

● なし。

その他

- 本会の理事を長くお務め頂いた、越谷市体育協会鈴木康昭氏が秋の叙勲で旭日双光章旭日授賞された。おめでとうございます。

平成19年12月24日に起きた、サッカー少年団のマイクロバスの転落死亡事故について、3月11日にさいたま地裁の判決がでました。

本会としても、県当局からのご指導も含め、各種研修会等でも注意喚起している。特に、スポーツ少年団では、来年度から指導者の研修会にリスクマネジメントの内容を加えて開催していく。

冒頭、会長の挨拶にもありましたが、しのぶ会への協力について県幹部からも感謝いただいている。

(日中成人スポーツ交流について)

- 既に理事会等で報告されているが、平成 19 年度から日中国交正常化 35 周年記念として、日本体育協会が日中成人スポーツ交流事業を行っている。

本年度は、埼玉県と安徽省で派遣と受入が行われ、本事業の成果から安徽省テニス協会から交流の申し出があり、埼玉県テニス協会は、安徽省テニス協会と交流事業を行うことになりました。

事業申請は、埼玉体育協会を通じて手続をしている。交流事業の精神を活かして行きたい。

## 協議事項

### 第 1 号議案 平成 21 年度事業計画並びに平成 21 年度予算案について

- 主な事業概要を説明させていただきます。基本方針は例年通りです。

スポーツ振興事業で新しい取り組みは、総合型地域スポーツクラブ事業関連で、埼玉県では、一市町村一クラブを設置目標にしているが、現在 48%程である。そこで、日本体育協会から配置されるクラブ育成アドバイザーを複数配置の 2 名とした。

指導者養成講習会は、要望のあった新規競技種目を行う。

県立武道館の指定管理と活動支援では、武道館が主催する武道館祭りや元旦の稽古始について、自動販売機の交付金を活かして支援していく。スポーツの振興のために交付された浄財を県民へ還元していきたい。

来年度から、公益法人制度改革による公益財団認定に向けた諸準備に本格的に取り組めます。

日中成人スポーツ交流事業は、来年度は北海道で行われるが、先ほどの報告のとおり、成果としてテニス競技が交流を始める。なお、本事業には日本体育協会からの補助があるので、本会が窓口となり補助金の申請をしている。

競技力向上事業では、彩夏到来 08 埼玉総体が終了したので関連事業がなくなったことと、県費補助金が約 1,100 万円減額のため、重点化と再編を余儀なくされた。

第 2 期強化訓練事業は、国民体育大会本大会で活躍のあった団体と中心に重点配分となる。委員会報告のとおり、ジュニアアスリートアカデミーを再編重点化した。

スポーツ少年団では、全国バレーボール交流大会が終了するが、関東ブロック競技別交流大会を開催する。

スポーツ科学研究事業は例年のとおり。免税募金事業は実質額に合わせる。

スポーツ振興くじ助成事業は、応募しない、応募しないと言うよりも、応募できないといった方が合っている。応募されている事業と本会の事業内容の不一致や、1/3 の負担金は難しい。

ホームページの改善を行う、より多くの情報を掲載・更新を行うためには現在の手

作りでは限界が来ているので見直す。

- 従来から実施していたが新たに標記をしたことは、大宮公園スポーツランド（飛行塔）の運営。

競技力では、環境整備事業は冬季競技を重点的に行ってきたが、国庫補助の受け皿として行ってきた近代五種バイアスロン連合の馬匹管理事業を明記。強化特別委員の委嘱。

関東ブロック大会及び国民体育大会埼玉県選手団の編成・派遣の明記を加えた。カレンダー形式で年間主要行事予定表を参考に、理事会・評議員会の日程や国民体育大会の日程などをご確認頂き、ご予約をお願いいたします。

## 第2号議案

- 本会の会計は大きく二つに分かれ、運営関係の一般会計とスポーツ振興事業特別会計で、一般会計では、県費補助金 77,060,000 円、日本体育協会補助金 6,267,000 円で、総合型地域スポーツクラブ関係で 727,000 円増額。収入合計 106,580,000 円。

管理費支出は、3 月で職員が退職するので退職給付支出を計上した。また、給与手当支出では、退職に伴い 4 月から新たな職員を採用する分を計上した。

投資活動収支の部では、退職給付のための取崩を行う。次期繰越収支差額には、4 月から 6 月までの義務的経費 24,000,000 円を計上した。

スポーツ振興事業特別会計では、事業計画で説明した近代五種バイアスロン連合の場匹管理分の国庫補助金 2,041,200 円が新たに増えた。

県費補助金は、11,098,000 円減額で 130,565,000 円、内競技力向上事業関係 116,565,000 円、スポーツ少年団関係 14,000,000 円。

スポーツ少年団事業の登録金 48,000,000 円。スポーツ振興事業特別会計収入合計 195,798,400 円。

スポーツ振興事業活動支出では、選手強化事業費支出の環境整備強化費支出の近代五種バイアスロン連合分の支出の増額がある。ジュニア育成費支出は、事業の再編による重点化で増額した。

スポーツ少年団費支出では、関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会の経費を計上した。

生涯スポーツ振興費支出はほぼ同額。事業部特別会計は大宮公園飛行塔の管理運営。学校体育団体等 21,180,000 円。免税募金は目標額に到達が難しいので設定額を実際の金額に合わせた。

スポーツ振興くじ助成事業の募集はあったか、本会の事業内容と経費負担が折り合わないのでは申請を見送った。最期に、平成 21 年度総括表を掲載してある。

- 只今の第 1 号議案並びに第 2 号議案について何か質問等ございますでしょうか。
- なし。
- お諮り致します。第 1 議案並びに第 2 議案について原案のとおりご承認いただけますでしょうか。
- 異議なし
- 第 1 号議案並びに第 2 号議案は原案のとおり決しました。

### 第3号議案 新規加盟団体について

○ 埼玉県グラウンド・ゴルフ協会・埼玉県パワーリフティング協会の2団体から加盟申請の提出があったので、平成21年12月18日(木)に加盟審査委員会を開催した。

加盟規程に基づき審査した結果、埼玉県グラウンド・ゴルフ協会は加盟基準を満たしているとの結論に達した。埼玉県パワーリフティング協会は加盟基準を満たしていないとの結論に達した。よって、埼玉県グラウンド・ゴルフ協会を加盟規程第5条に基づき加盟について提案するものである。

○ 只今の説明について、何かご意見ご質問等ございますか。

● 無し。

○ 無ければお諮り致します。第3議案についても原案のとおりご承認いただけますでしょうか。

● 異議なし。

○ 第3号議案も原案のとおり決しました。

### 第4号議案 役員の補充について

○ 五十里光秋監事をご逝去されたので、後任の監事についてご提案したい。本会監事の委嘱は、評議員会で推挙し会長が委嘱することとなっているが、元本会理事で埼玉県ソフトテニス連盟元会長の田中美明氏を、次の評議員会に理事会として監事に推薦したい。

田中美明氏は、現在は主立った役職には就いていないが、本会理事を昭和59年から平成11年まで務め、また、埼玉県ソフトテニス連盟会長を昭和63年から平成11年まで務めており、本会の事業内容等に精通している。

○ 只今の説明について、何かご意見ご質問等ございますか。

● 無し。

○ 無ければお諮り致します。第4号議案について原案の通り承認頂けますか。

● 異議なし。

### そのた(県費補助金について)

○ 県費補助金は2月の県議会終了まで決定ではないので、予算書の県費補助金は要求額を計上してある。

以上全議事を終了し15時12分閉会

### 事務連絡

○ 明日、埼玉県体育賞が挙行されます。郡市選出の理事の方々は6月の連絡会議の打合せを行いますので、そのままお残り願います。